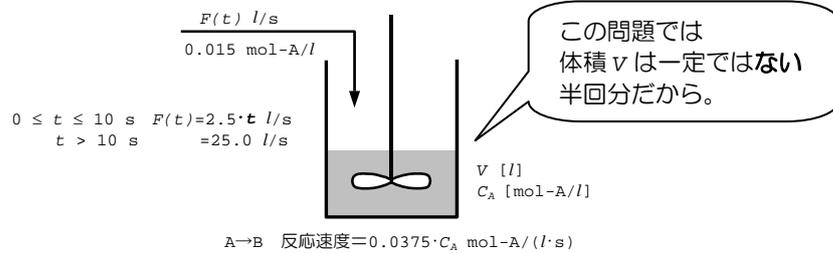


モデル化を含めた微分方程式の数値解析の最終章

前回の答え合わせから。

次に示す半回分反応装置がある。溶液容積  $V$  と濃度  $C_A$  の経時変化を求めよ。

ただし、入力流量は時間で変化し、はじめの 10 秒は  $2.5 \times t$  l/s, 10 秒以降は  $25.0$  l/s の一定量とする。初期条件は  $t=0$  で  $V=75$  l とし、求めるのは  $t=60$  sec までとする。



物質収支式 
$$\frac{d(V \cdot C_A)}{dt} = (0.015 \cdot F) - (0) + (0) - (0.0375 \cdot C_A \cdot V)$$

この問題で  $V$  は一定ではない。

$$V \frac{dC_A}{dt} + C_A \frac{dV}{dt} = (0.015 \cdot F) - (0.0375 \cdot C_A \cdot V)$$

ここで  $F$  と  $\frac{dV}{dt}$  の関係をどう考えるか。 体積の増加量=流量なので  $F = \frac{dV}{dt}$

$$V \frac{dC_A}{dt} = -C_A \frac{dV}{dt} + (0.015 \cdot F) - (0.0375 \cdot C_A \cdot V)$$

$$V \frac{dC_A}{dt} = -C_A \cdot F + (0.015 \cdot F) - (0.0375 \cdot C_A \cdot V)$$

$$\frac{dC_A}{dt} = (-C_A + 0.015) \cdot F / V - (0.0375 \cdot C_A)$$

```

/*****
半回分反応器問題
オイラー法の応用
                2010-1-00   Takiyama
*****/
#include <stdio.h>
#include <math.h>

int main(void){
    double h;
    double t, V, CA;
    double t0, V0, CA0;
    int i;

    i=0;
    t0=0.0;
    V0=75.0;
    CA0=0.0;

    printf("Please Input H=");
    scanf("%lf", &h);

    printf(" I,      t,      V,      CA\n");

    t=t0;
    V=V0;
    CA=CA0;

    LABEL:

    printf(" %d,      %f,      %f,      %f\n", i, t, V, CA);
    
```

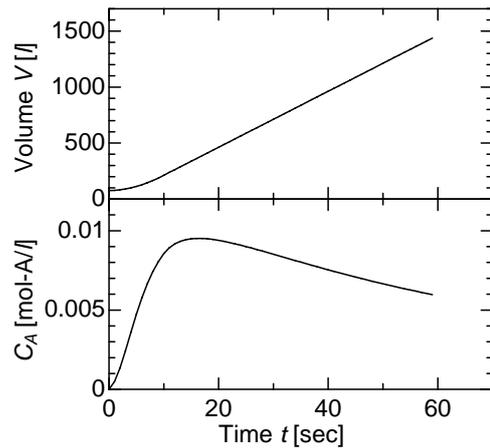


Fig.A 半回分反応装置での溶液容積と濃度の経時変化

```

i=i+1;
t=t+h;

if (t < 10.0)
{
    V=V+h*(2.5*t);
    CA=CA+h*(2.5*t*(0.015-CA)/V-0.0375*CA);
}
else
{
    V=V+h*(25.0);
    CA=CA+h*(25.0*(0.015-CA)/V-0.0375*CA);
}

if (t < 60)
{
    goto LABEL;
}

return(0);
}

```

平成 16 年度の期末試験

4 A+B→R の定容系として進行する液相反応の速度が、ある温度で、

$$r = k \cdot C_A^{0.5} \cdot C_B^{1.5} \quad [\text{kmol}/(\text{m}^3 \cdot \text{min})] \quad k = 7.45 \times 10^{-3} \quad \text{と与えられる。}$$

いま、 $C_{A0}=2.0 \text{ kmol}/\text{m}^3$ 、 $C_{B0}=5.0 \text{ kmol}/\text{m}^3$ 、 $C_{R0}=0.0$  を含む原料を用いて、この反応を回分操作で進行させる。このとき、成分 A の反応率  $x_A=0.8$  を得るのに必要な時間  $\theta$  を求めたい。次の間に答えよ。

- (1) 反応率  $x_A$  の経時変化を示す微分方程式を、 $x_A$  の関数として定義せよ。
- (2)  $x_A$  の経時変化の概略を示せ。
- (3) 微分方程式を実際に解き、 $x_A=0.8$  を得るのに必要な反応時間  $\theta$  を求めよ。

ヒント

$$\frac{dx_A}{dt} = k \cdot C_{A0} \cdot (1 - x_A)^{0.5} \cdot \left( \frac{C_{B0}}{C_{A0}} - x_A \right)^{1.5}$$

答え

25.9 min

**これで講義は全て終了です。  
現象を再現できること（シミュレーション）に興味は持てましたか？**